



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

# 会社説明会および 2019年11月期第2四半期 決算説明会資料

2019/07/05 (機関投資家向け決算説明会:東京)  
2019/07/12 (個人投資家向け会社説明会:大阪)  
2019/07/22 (個人投資家向け会社説明会:東京)

証券コード:4187

URL <https://www.ooc.co.jp/>

## 目次



2

1. 会社概要

2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

3. 2019年11月期 業績目標

4. 資本政策

5. C S R

6. 長期経営計画 Next Stage 10

## 1. 会社概要

## 2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

## 3. 2019年11月期 業績目標

## 4. 資本政策

## 5. C S R

## 6. 長期経営計画 Next Stage 10

## 会社概要

社名(商号) 大阪有機化学工業株式会社

創立 1941年12月8日

設立 1946年12月21日

代表者 代表取締役社長 上林泰二

本社 大阪府中央区安土町一丁目7番20号

資本金 36億29万円

従業員数 412名(連結)

上場市場 東証一部(証券コード:4187)

酒田工場



金沢工場



- ... 事業所
- ... 工場
- ... グループ



光碩(上海)化工貿易有限公司

神港有機化学工業(株)

金沢工場

酒田工場



八千代事業所

東京オフィス

大阪事業所

本社

## 当社の事業について

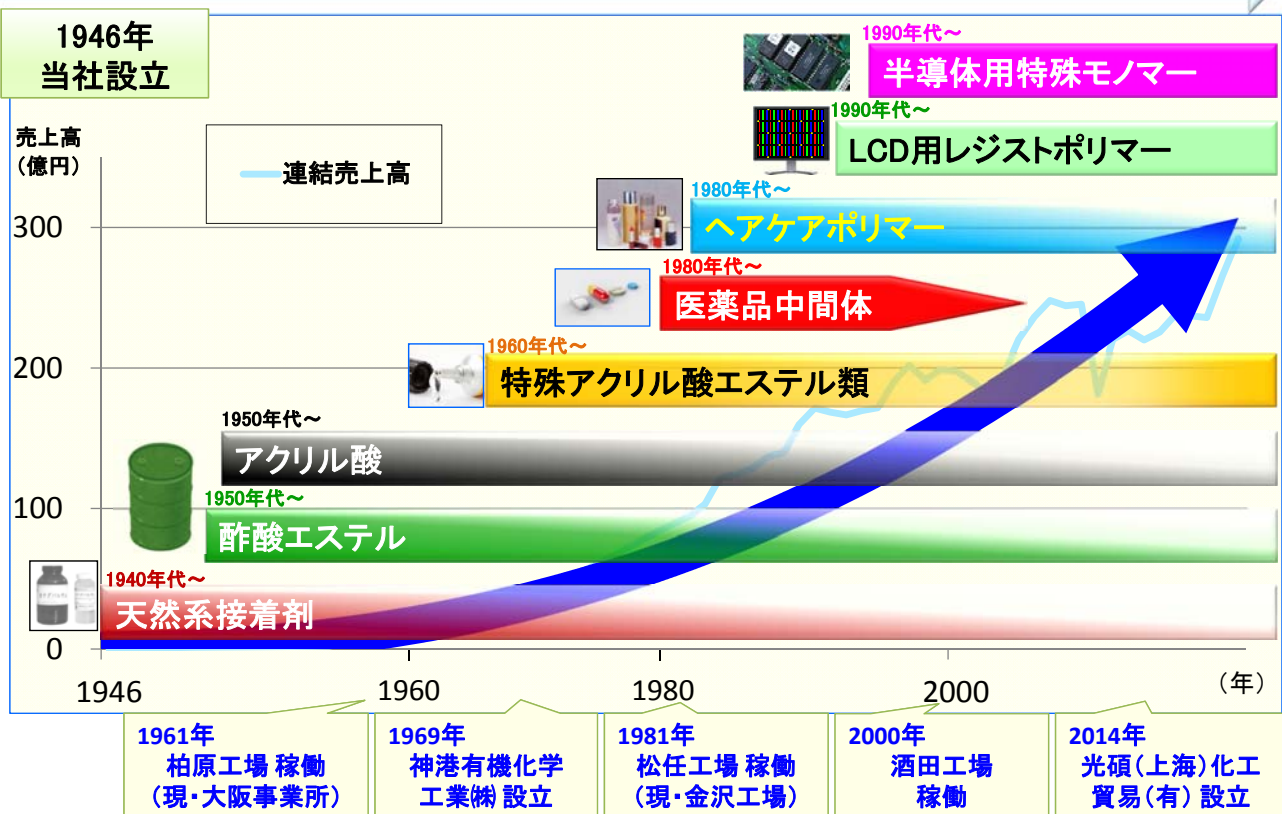
Q: 何をしている会社?

A: 特殊な **アクリル酸エステル** をつくっている会社です!

当社で色々な機能を付与した材料(アクリル酸エステル)が、生活の様々な場面で使われています。



## 生産活動を通じて、技術とノウハウを蓄積！



## 事業分野

### 【化成品】

#### 特殊アクリル酸エステルの豊富なラインナップ！

- ・少量多品種の生産体制
- ・高度な蒸留技術



#### 一般塗料



#### 粘接着剤

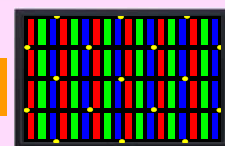


UVインクジェットインキ

### 【電子材料】

#### IT産業の未来を底から支える最先端の素材開発力！

- ・エステル化技術と有機合成技術の融合
- ・最高レベルの品質管理技術



液晶テレビ  
ディスプレイ



半導体材料



スマート  
フォン

### 【機能化学品】

#### 化粧品原料、機能性材料のスペシャリスト！

- ・各種化粧品原料ポリマー
- ・特色あるファインケミカル製品

#### ヘアケア剤



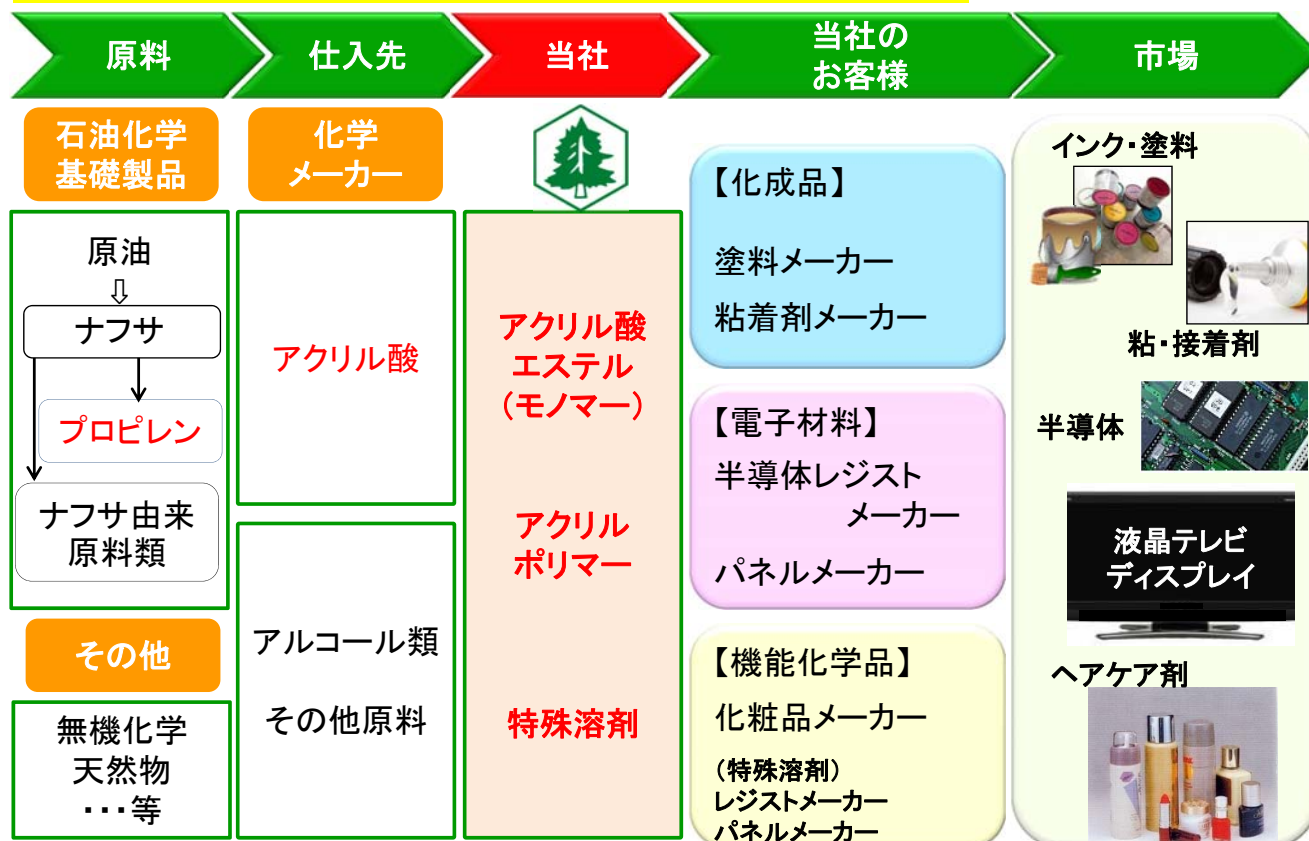
#### 曇り止めフィルム



#### 特殊溶剤



\* アクリル酸エステル(モノマー)を軸にした、中間材料の製造販売



2018年11月期 連結売上高と営業利益

売上高 292億円

営業利益 36億円

化成品 121億円

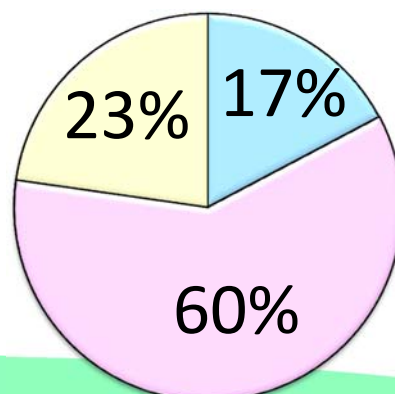
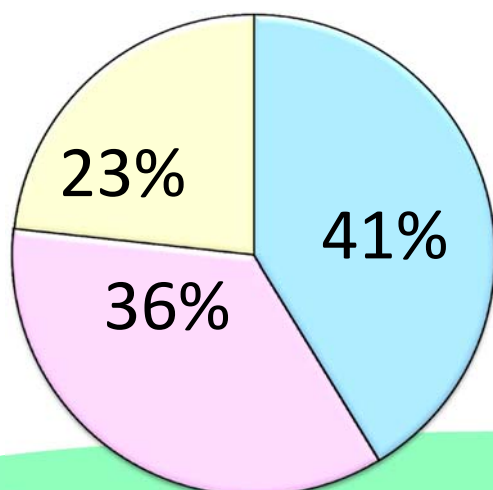
化成品 6億円

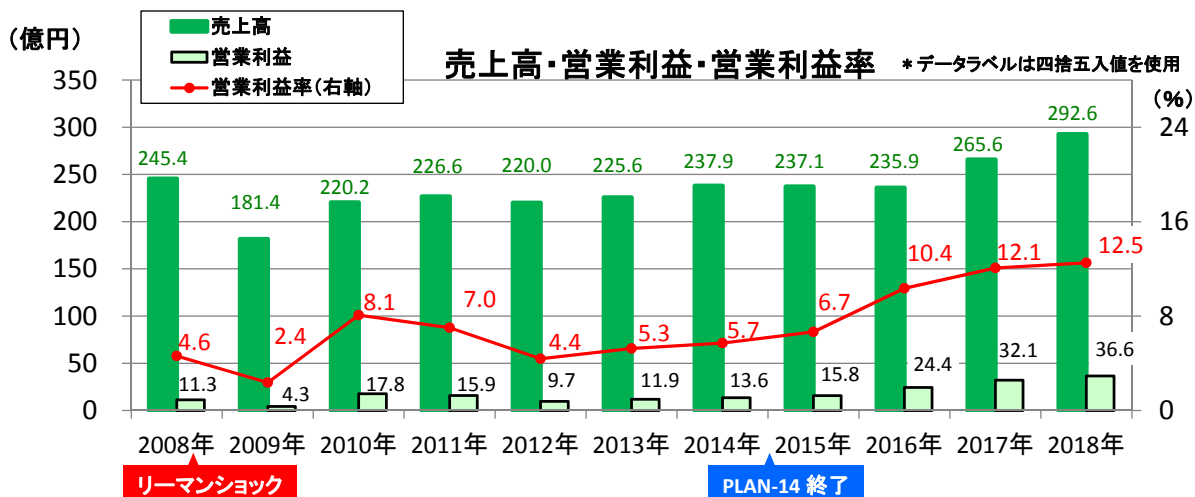
電子材料 103億円

電子材料 22億円

機能化学品 68億円

機能化学品 8億円





【PLAN-14】  
2014年完了を目指した事業と設備の  
再配置計画を実行

【Next Stage 10】  
2024年11月期までの  
長期経営計画を推進

海外シフト

電子材料への注力

## 当社の特徴

### 当社の強みとするところ

特殊アクリル酸エステル(モノマー)の**多品種少量生産**  
⇒**特色のある製品群**を保有

有機合成・**重合防止**技術と、最先端の**品質管理**技術  
⇒**顧客要望**にかなった製品を提供

モノマーからポリマーまでの一貫生産体制  
⇒アクリル分野での優位性

業務改善や設備保全に真摯に取り組む企業風土

## 2019年度方針

- ・熱意、誠意、創意を醸成する風土づくり
- ・効率的な資源投入と堅実成長
- ・『地球や社会と共存』に向けた企業活動

## 目次

1. 会社概要

2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

3. 2019年11月期 業績目標

4. 資本政策

5. C S R

6. 長期経営計画 Next Stage 10

## 第2四半期概要

半導体材料が引き続き好調に推移する中、化粧品材料や機能材料は低調となり、売上高は前期比2%増の141.9億円となりました。  
原料費、燃料費、減価償却費の増加により、営業利益は前期比4%減の17.6億円となりました。

|                          | 2018/05<br>実績 | 2019/05<br>予想 | 2019/05<br>実績 | 前年比  |       |
|--------------------------|---------------|---------------|---------------|------|-------|
|                          |               |               |               | 金額   | %     |
| 売上高(百万円)                 | 13,948        | 15,147        | 14,192        | +244 | 102 % |
| 営業利益(百万円)                | 1,843         | 1,912         | 1,764         | △79  | 96 %  |
| 経常利益(百万円)                | 1,968         | 2,005         | 1,812         | △156 | 92 %  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益(百万円) | 1,310         | 1,388         | 1,334         | +24  | 102 % |
| 国内ナフサ(円/KL)              | 48,300        | 50,000        | * 43,600      | —    | —     |
| 為替(円/\$)                 | 109           | 111           | 111           | —    | —     |

\* 確定前の暫定値

## 2019年11月期 第2四半期 セグメント別業績概要

## 概要

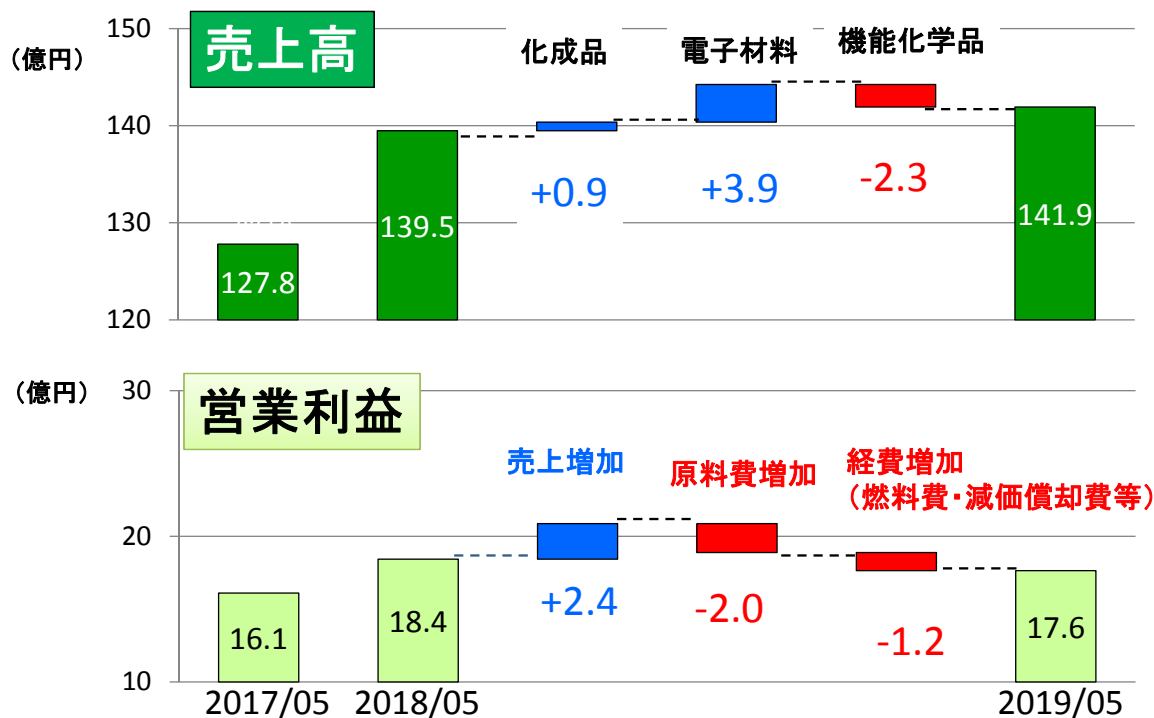
化成品事業は堅調に推移し、製造コストの減少などにより、増益となりました。  
電子材料事業は、半導体材料が好調でしたが、表示材料の減少および、販管費の増加により、減益となりました。  
機能化学品事業は、化粧品原料・機能材料ともに低調で減収減益となりました。

(金額単位: 百万円)

|         | 2018/05 |      | 2019/05 |      | 増減   | 前年比   |
|---------|---------|------|---------|------|------|-------|
|         |         | 構成比  |         | 構成比  |      |       |
| 売上高     | 13,948  | —    | 14,192  | —    | +244 | 102 % |
| 化成品事業   | 5,729   | 41 % | 5,817   | 41 % | +88  | 102 % |
| 電子材料事業  | 4,845   | 35 % | 5,233   | 37 % | +388 | 108 % |
| 機能化学品事業 | 3,372   | 24 % | 3,140   | 22 % | △232 | 93 %  |
| 営業利益    | 1,843   | —    | 1,764   | —    | △79  | 96 %  |
| 化成品事業   | 318     | 18 % | 394     | 22 % | +76  | 124 % |
| 電子材料事業  | 1,072   | 58 % | 1,019   | 58 % | △53  | 95 %  |
| 機能化学品事業 | 446     | 24 % | 357     | 20 % | △89  | 80 %  |

## 増減要因

電子材料が牽引して、売上高は増加しましたが、原料費、燃料費、減価償却費などの負担増により減益となりました。



\* データラベルは四捨五入値を使用

## 目次

1. 会社概要

2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

3. 2019年11月期 業績目標

4. 資本政策

5. CSR

6. 長期経営計画 Next Stage 10

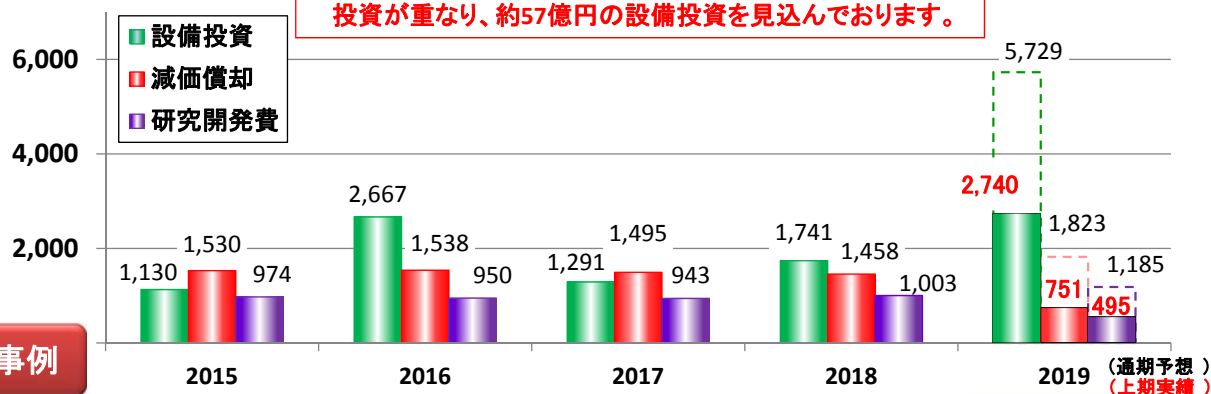
## 重点施策

電子材料事業や化成品事業の製造設備増強により、顧客需要への対応力を高めるとともに有力製品のシェアアップを目指します。

|                          | 2018/11<br>(実績) | 2019/11<br>(目標・予想) | 前年増減   | 前年比   |
|--------------------------|-----------------|--------------------|--------|-------|
| 売上高(百万円)                 | 29,257          | 30,821             | +1,564 | 105 % |
| 営業利益(百万円)                | 3,660           | 3,674              | +14    | 100 % |
| 経常利益(百万円)                | 3,935           | 3,882              | △53    | 99 %  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益(百万円) | 2,677           | 2,688              | +11    | 100 % |
| 純資産(百万円)                 | 30,662          | 32,522             | +1,860 | 106 % |
| 売上高営業利益率(%)              | 12.5            | 11.9               | —      | —     |
| ROE(%)                   | 8.9             | 8.6                | —      | —     |
| 一株当たり純利益(円銭)             | 120.67          | 121.41             | —      | —     |
| 自己資本比率(%)                | 75.6            | 71.1               | —      | —     |
| 国内ナフサ (円/KL)             | 51,000          | 50,000             | —      | —     |
| 為替 (円/\$)                | 110             | 111                | —      | —     |

## 設備投資・減価償却・研究開発費

(百万円)



## 主な事例

設備  
増強電子材料  
設備増強電子材料  
プラント建設電子材料  
設備増強化成品  
設備関連電子材料  
プラント建設化成品設備  
増設インフラ  
整備ユーティリ  
ティー関連倉庫・電気  
設備関連神港有機  
インフラロジスティック  
関連ユーティリティー  
整備研究  
開発

実験機器

試作プラント  
増強

研究棟増床

分析機器

分析機器

分析機器

分析機器

分析機器

## 事業方針

特殊アクリル酸エステル(モノマー)のグローバル展開

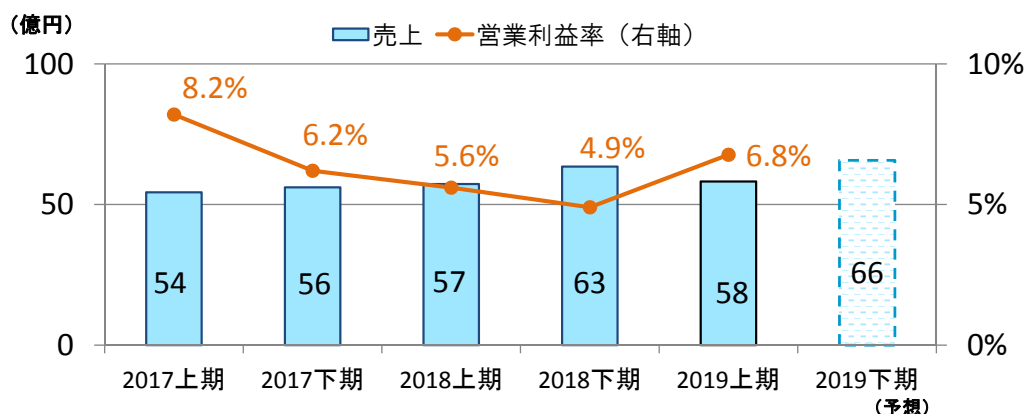
## 事業展開

|                  |                                          |
|------------------|------------------------------------------|
| ・製品の新陳代謝         | 製品の選択と集中<br>優位性のある製品(4-HBA等)の拡販          |
| ・高付加価値製品の<br>の上市 | 新規モノマーの市場導入                              |
| ・海外展開            | 特殊インク用原料(UVインクジェット等)の拡販<br>光学向け粘着剤用原料の拡販 |

## 課題

原料調達の安定化(価格・品質)

## 実績・予想



# 化成品事業＜インクジェット分野＞

## 事業分野

UVインクジェットプリンター用インク原料

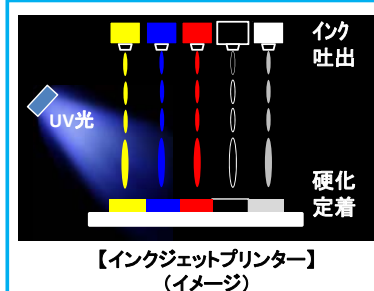
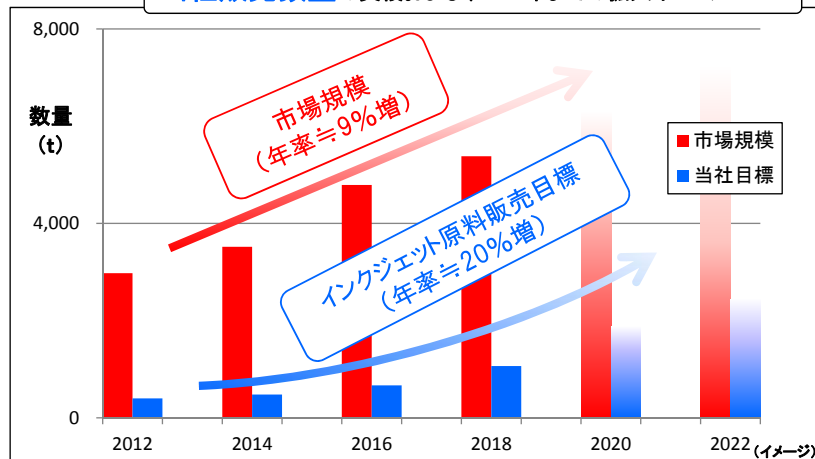
## 事業展開

グローバル市場での拡販によるシェアの拡大  
(欧米やアジア諸国が市場の中心)

## 強み

高品質、豊富な品揃えで市場優位性をキープ

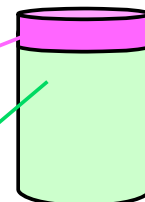
インクジェットインク用アクリル酸エステルの**市場規模**と  
**当社販売数量**の実績および、2022年までの拡大イメージ



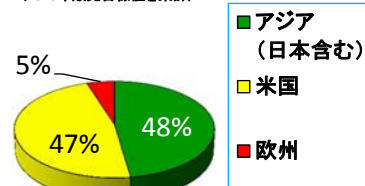
【インクの組成】  
(代表例)

添加剤  
15%

アクリル酸  
エステル  
85%



【当社の販売先】  
(2020年販売目標値を集計)



## 事業方針

特殊アクリル酸エステル(モノマー)製造技術を生かした  
最先端材料事業への展開

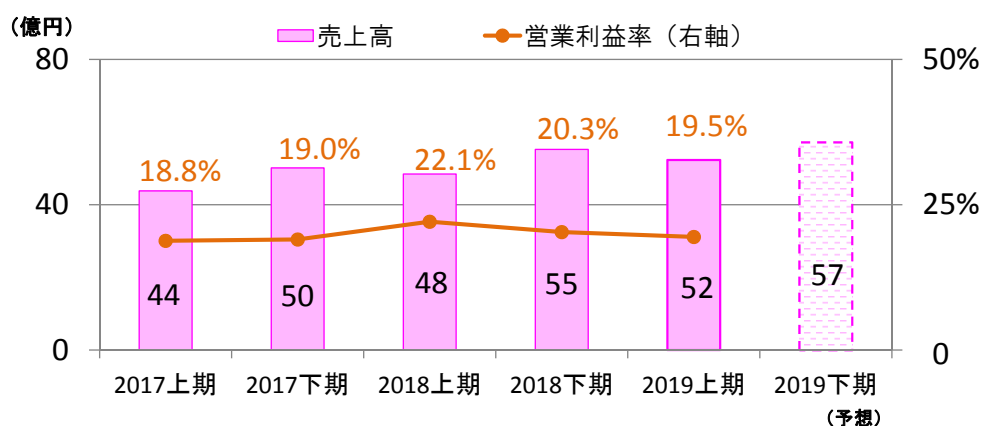
## 事業展開

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| ・半導体材料    | 次世代材料開発における品質摺合せによりモノマーシェアNo.1を確保 |
| ・ディスプレイ材料 | 新規ディスプレイ材料の拡販                     |

## 課題

海外メーカーの台頭

## 実績・予想



# 電子材料事業＜今後の展開＞

## 半導体材料

### 【目標】

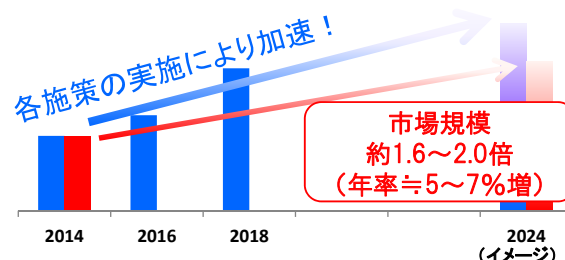
- ・市場占有率を確保
- ・関連材料への展開

### 【施策】

- ・ArFレジスト用アクリルモノマーの拡販
- ・EUV用モノマーへの対応
- ・LSI関連材料への対応
- ・設備増強による販売体制強化
- ・高度な品質管理体制の追及

2014年を基準とした、2024年までの売上高と市場規模の拡大イメージ

半導体材料  
売上予想  
約2.5倍  
(年率≒10%増)



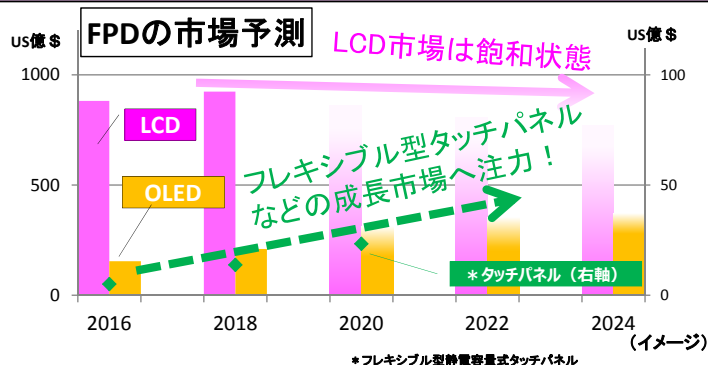
## ディスプレイ材料

### 【目標】

- ・既存製品のシェア拡大
- ・次世代表示材料の開発

### 【施策】

- ・タッチパネル用絶縁材料の用途拡大
- ・フレキシブルディスプレイ関連材料の開発強化
- ・マイクロLED関連材料の開発強化



## 事業方針

特殊アクリル酸エステル(モノマー)を生かした機能性材料への展開

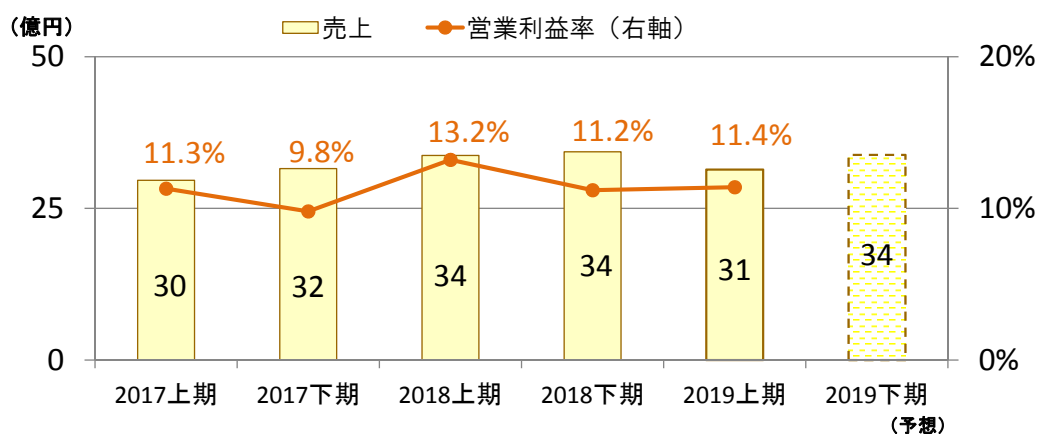
## 事業展開

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| ・機能性ポリマー | 自社モノマーを材料にした機能性ポリマーの開発を促進させる |
| ・特殊溶剤    | 最先端の品質管理技術を活かした特殊溶剤の拡販       |
| ・化粧品材料   | 既存製品の拡販                      |

## 課題

新規製品投入の遅れ

## 実績・予想



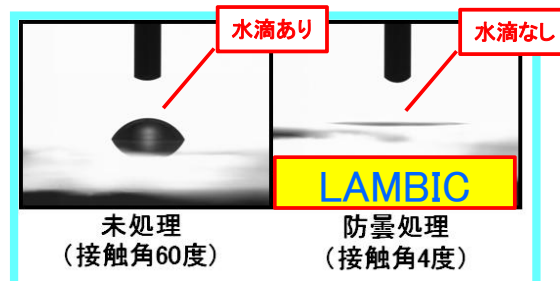
## 機能化学品事業＜超親水コート材＞

## LAMBIC シリーズ

## 特徴

- ・ガラス表面にコーティングする事で、**超親水性**を付与。
- ・親水化した基材は、汚れやホコリが付きにくい。
- ・たとえ汚れが付着しても水で簡単に除去可能(**セルフクリーニング機能**)
- ・防曇性能もあり、メガネや業務用レンズ、浴室ミラー等にも応用可能。

水をはじかず  
水滴がつかない！



## 開発ステージの推移

開発は次の  
ステージへ...

2012年12月  
プレスリリース

現在地

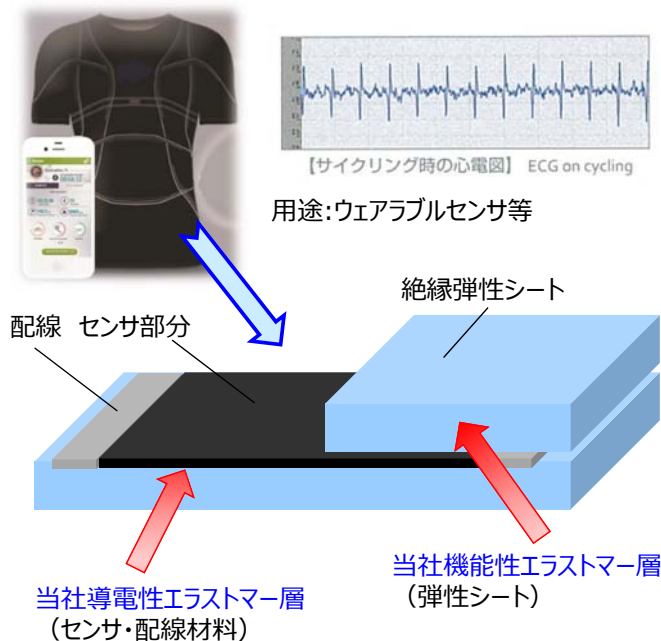
上市・量産

初期実験段階

サンプルワーク  
ユーザーとの品質摺合せ

## 機能性エラストマー/伸縮性導電材料

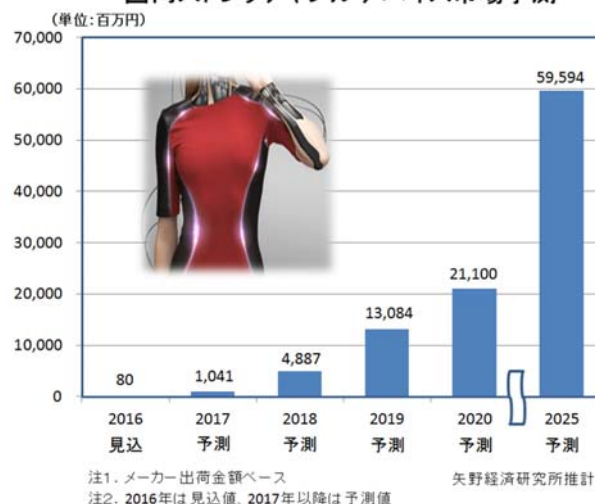
配合技術、特殊重合技術から生まれた！



当社エラストマーは柔軟性・伸張性に優れた材料！



### 国内ストレッチャブルデバイス市場予測



## ストレッチャブルデバイス分野にて、サンプルの有償販売開始

1. 会社概要

2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

3. 2019年11月期 業績目標

4. 資本政策

5. CSR

6. 長期経営計画 Next Stage 10

## 基本方針

当社は、企業価値の向上を目指し、財務体質の健全性、資本効率及び株主還元の最適なバランスを図ってまいります。

## 配当政策

配当性向30%を重要な指標として、株主還元に努めます。

## 自己株式の取得

経営環境の変化に機動的に対応し、株主価値の向上に資する資本政策等を可能とするため、自己株式の取得を行います。

## 重要経営指標目標

売上高営業利益率10%以上を目標にします。  
自己資本比率70%前後を維持します。

## 政策保有株式の縮減に向けた方針

当社の保有する政策保有株式は、保有基準を定め毎年取締役会にて個別の案件ごとに検証を行い、縮減に向けた判断を行ってまいります。

## 資金調達(増資等)の方針

健全な財務体質の維持、資本効率の向上、株式価値の希薄化等への十分な配慮と調達コスト・スピード等を考慮し、資金調達を行います。

## 業績の推移

## 概要

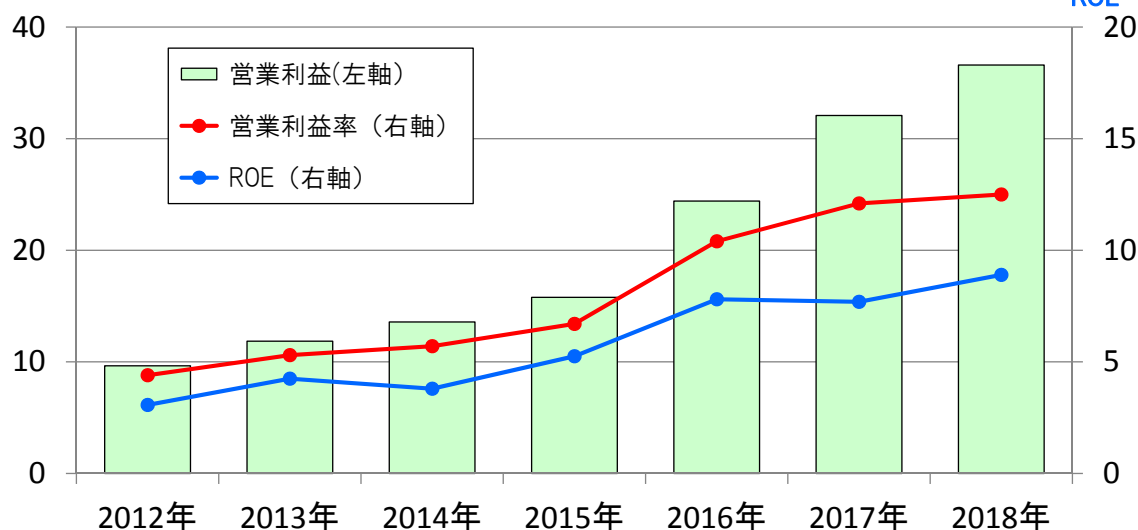
製品構成の変化により、営業利益率が改善し、ROEの向上につながりました。

営業利益(億円)

## 営業利益とROEの推移

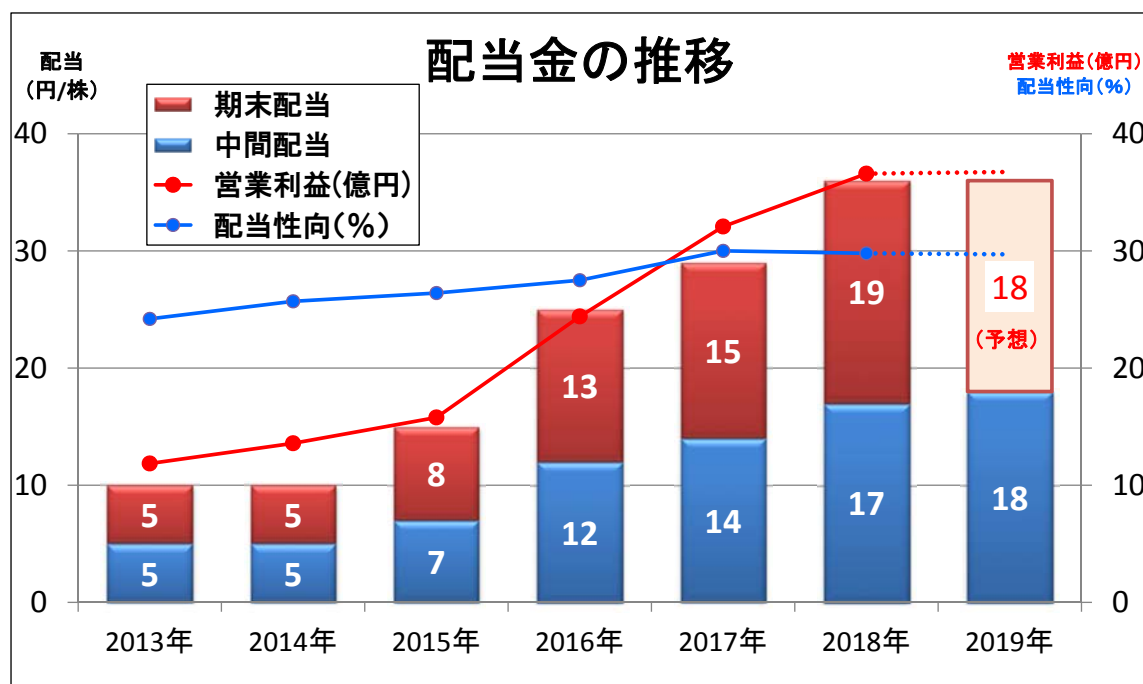
営業利益率(%)

ROE (%)



概要

配当性向 30%を重要な指標として、株主還元に努めます。  
利益の増加に伴った配当を行っております。



目次

1. 会社概要

2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

3. 2019年11月期 業績目標

4. 資本政策

5. CSR

6. 長期経営計画 Next Stage 10

社会・地域貢献

地域清掃活動（大阪府柏原市）  
「大和川クリーン作戦」



植林活動【石川県白山市】  
「大阪有機 未来の森」



保安防災

「年間保安管理計画書」に沿って、安全教育、保安点検と防災訓練などを実施

指揮・消火訓練  
（金沢工場）



防災訓練  
（酒田工場）



環境負荷低減/従業員とのかかわり

環境負荷低減

廃棄物が少ないアクリル酸  
エステル製造法を工業化

副生油（廃油）を燃料として利用  
するボイラーを開発し運用



副生油ボイラー

「環境・社会報告書」

<https://www.ooc.co.jp/csr/report/>

\* ホームページをご覧ください

従業員とのかかわり

～働きやすい環境づくり～

- ・育児休業/時短
- ・介護休業/時短



～ ストレスチェックの実施 ～  
産業医と連携した、心のケアを実施

～ インターンシップ～

学生の受け入れを  
積極的に推進



コーポレートガバナンスの向上を図るため、**社外取締役の増員**や、役員への**株式報酬制度**の導入、選任指名・報酬に関する**諮問委員会**の設置に取り組んできました。  
2019年7月には、社外取締役の**経営に対する監視**が強化されるように、諮問委員会の**組織変更**を行いました。

| 時期       | 変更前                                                         | 変更後                                                                 |
|----------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 2016年2月  | 社外取締役 1名                                                    | 社外取締役 <b>2名</b>                                                     |
| 2018年2月  | 制度なし                                                        | <b>執行役員制度導入</b>                                                     |
|          | 退職慰労金制度あり                                                   | 退職慰労金制度 <b>廃止</b>                                                   |
|          | 制度なし                                                        | <b>譲渡制限付株式報酬制度導入</b>                                                |
| 2018年12月 | 任意の諮問委員会なし                                                  | <b>選任指名諮問委員会設置</b>                                                  |
|          |                                                             | <b>報酬諮問委員会設置</b>                                                    |
| 2019年7月  | 選任指名諮問委員会<br>【議長】 社内取締役<br>【委員】 社内取締役 <b>3名</b><br>社外取締役 2名 | 選任指名諮問委員会<br>【議長】 <b>社外</b> 取締役<br>【委員】 社内取締役 <b>1名</b><br>社外取締役 2名 |
|          | 報酬諮問委員会<br>【議長】 社内取締役<br>【委員】 社内取締役 1名<br>社外取締役 2名          | 報酬諮問委員会<br>【議長】 <b>社外</b> 取締役<br>【委員】 社内取締役 1名<br>社外取締役 2名          |

1. 会社概要

2. 2019年11月期 第2四半期 決算概要

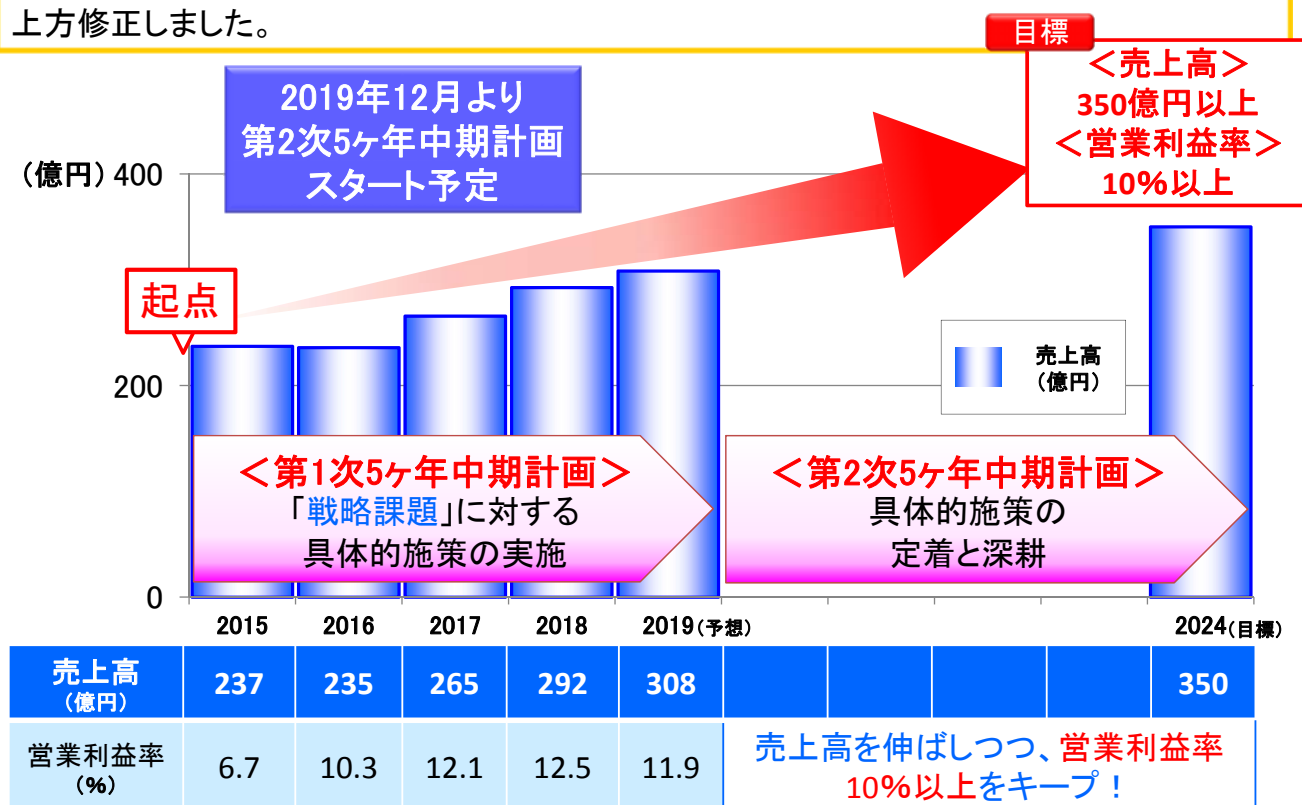
3. 2019年11月期 業績目標

4. 資本政策

5. C S R

6. 長期経営計画 Next Stage 10

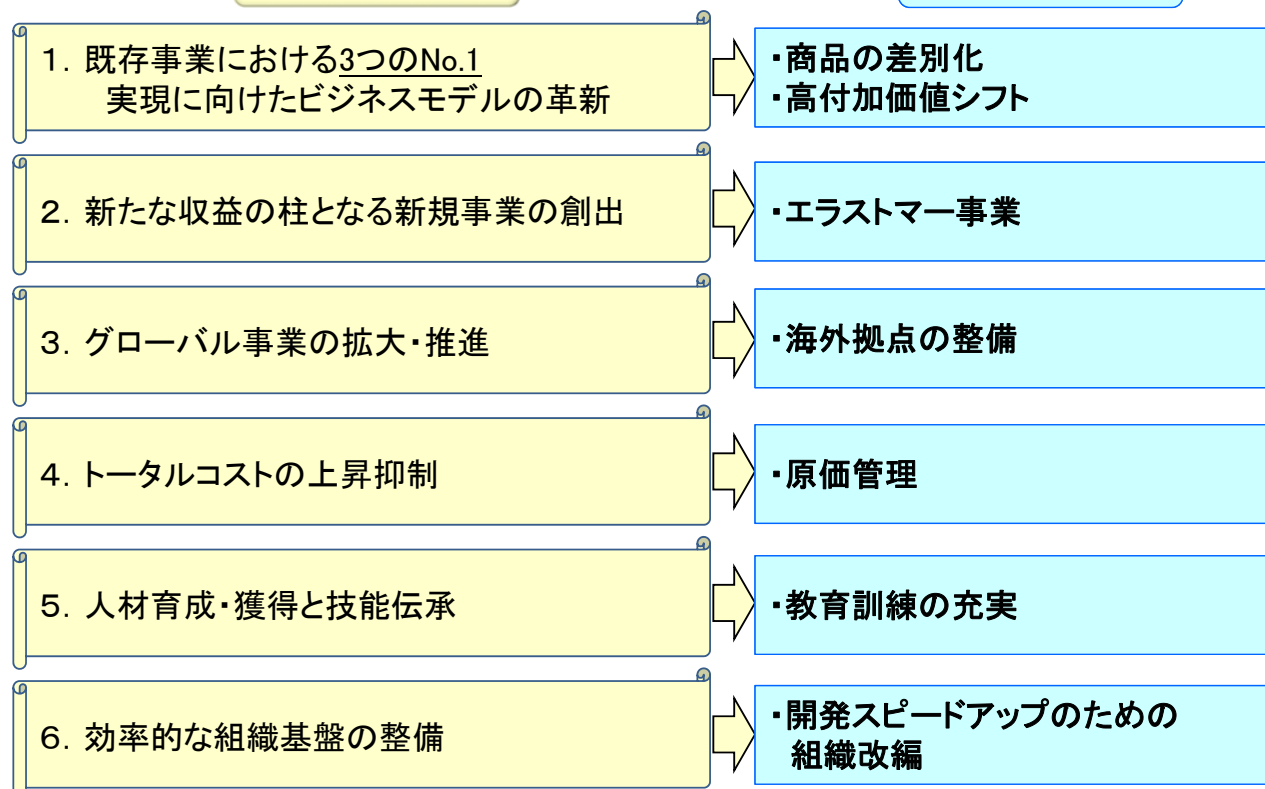
2015年11月期より計画スタート。5年目の当初目標(売上高270億円)を早々に達成できる見込みとなったため、2018年1月に、10年目の売上高の目標を300億円から350億円以上へと上方修正しました。



## 戦略課題

### 戦略課題

### 具体的施策





＜注意事項＞

本資料の予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の内容と異なる場合があります。したがって、いかなる確約や保証を行うものではありません。

決算説明会での質疑応答の要旨は、当社ホームページにて公開いたします。

【お問い合わせ】  
管理本部 IR・広報担当  
TEL 06-6264-5071(代表)

\_\_\_\_\_